

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	小田（紺家）裕子 【理学専攻 平成22年度生】	<p>本研究では、文字情報に加えて、声の大きさなどの付随情報が伝わる字幕提示方法を目指し、漫画で使われる吹き出しを利用した字幕を提案し、これを演劇とビデオに対して実装し評価した。演劇字幕では、プロジェクタを使って役者のセリフを舞台背景へ吹き出し表示するシステムを開発し、商業演劇の舞台で実施した。ビデオ字幕では、IPTV において吹き出し型の字幕を表示するシステムを開発した。それぞれで、利用者の評価をもとに吹き出し字幕の設計を行った。</p> <p>学位論文審査は5回にわたって開催された。本論文では申請者が、実際の演劇とIPTVで展開可能なシステムを開発し、吹き出し提示の設計指針を示し、当該分野の第一人者たる研究成果をあげたことを示している。また本論文の内容は、原著論文として学会論文誌に3件掲載されるとともに、国内外の学会で発表されている。国内発表では情報処理学会研究会の学生発表賞を受賞している。これらの顕著な研究成果を踏まえて、以下の日程で学位論文審査を実施した。</p> <p>第1回は平成26年6月18日に開催した。提出された論文の内容および問題点を洗い出し、第2回目以降の審査方法（申請者本人を呼び出しての審査方法）について審査委員間で合意をとった。第2回は平成26年7月1日、第3回は平成26年7月23日、第4回は平成27年1月23日に開催した。いずれも学位申請者による40分程度の研究内容説明の後、各種の質疑を取り交わし、論文内容の修正や改善について学位申請者に指示を出した。3回、4回で間が空いたのは、学位論文後半の内容を投稿した3本目の学会誌論文採択結果を待ったことと、申請者の出産があったためである。その後、平成27年2月19日に、公開発表会および最終試験を実施した。最終試験では、公開審査会にて研究内容を聴講した審査委員および出席者から、研究内容全般にわたって幅広く質問された。学位申請者は全ての質問に対して的確に回答し、本論文の研究内容の完成度の高さおよび、本研究分野における見識の広さと深さを示した。以上の結果から審査委員は、最終試験を合格と判定した。第5回は平成27年2月19日、公開発表会・最終試験の後に開催した。公開発表会および最終試験の内容を踏まえて、論文内容を最終確認した。以上の結果から本審査委員会は、本論文が人間文化創成科学研究科の学位、博士（理学）Ph. D. in Computer Scienceの学位を受けるに相応しいと判断した。</p>
論文題目	ユニバーサルデザインを指向する 吹き出し型字幕表現の設計と評価	
審査委員	(主査) 椎尾一郎 教授	
	伊藤貴之 教授	
	小林一郎 教授	
	小口正人 教授	
	齋藤豪 准教授	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、 もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	